

平成 21 年度 第 2 次 新 ま ち づ くり 計 画 事 業 進 行 調 書 (そ の 1)

計画体系コード	5-2-3		事業名	ウインタースポーツミュージアム体験装置・展示品リニューアル
担 当	観光文化局スポーツ部施設課 今野 211-3045			
全 体 計 画				
事業内容	平成22年にオープン10周年を迎える札幌ウインタースポーツミュージアムについて、ウインタースポーツの情報発信機能・疑似体験機能を強化するため、ウインタースポーツ競技団体やメダリスト、競技用具メーカーなどとの協働による展示品の収集・更新と、ジャンプシミュレーター等の大型体験装置の検討を行う。		<年度別の事業内容>	
			平成20年度 ・広告・協賛の手法の検討 ・展示品・体験装置の検討 ・観覧者のニーズの把握 平成21年度 ・最新用具展示更新(以後毎年) ・その他の展示物収集(以後毎年) ・コーナーリニューアル設計 ・ジャンプシミュレーター設計 平成22年度 ・コーナーリニューアル工事 ・ジャンプシミュレーター改修工事	
事業内容・量・場所・規模・件数等	平成19年度事業内容(決算)		平成20年度事業内容(決算)	
事業内容・量・場所・規模・件数等	平成21年度事業内容(予算)		平成22年度事業内容(予算)	
	○展示品の更新 収集困難な用具の購入及び展示用備品の購入。最新用具等については企業協賛等の手法を予定。 ○コーナーリニューアル オリンピック映像等、使用期限のある映像ソフト等の使用期間契約更新及び内容更新。			

平成 21 年度 第 2 次 新まちづくり計画事業進行調書（その 2）

計画体系コード	5-2-3		事業名	ウィンタースポーツミュージアム体験装置・展示品リニューアル			
達成目標の状況							
項 目		18年度末 (現 状)	19年度末 (実 績)	20年度末 (実 績)	21年度末 (予 定)	22年度末 (予 定)	22年度末 (目 標)
観覧者数		121,946人	108,922人	99,114人	99,000人	82,500人	133,800人
市民・企業等との協働の状況（市民・企業等の参加、支援、協力の状況）							
■ 市民との連携、市民参加 - 市民等からウィンタースポーツに関わる各種展示品等の寄贈あり。 ■ 企業等との連携・協働 [資金協力] 最新用具等の展示品の協賛。競技団体等に競技用具・競技映像等の提供・借用等の協力を依頼予定。 [人材協力]（該当なし） [情報協力]（該当なし） [その他の協力]（該当なし） ■ 市民・企業等が参加しやすい環境づくり - 各種競技団体の協力を得るため、関連の展示スペース等を確保する。 - 企業協賛の可能性を高くするため、企業広告を積極的に取り入れることを検討。							
評 価（ 成 果 ）				課 題			
				- 企業等からの協賛の具体的な手法について検討が必要。 - 協賛企業等の広告の具体的な手法について検討が必要。 - 映像フィルムのデジタル化など、収蔵品の保守管理が必要。			
今後の事業の予定・方向							
- リニューアル後の大型体験装置に関する更新・改修について中長期の計画を立てる。 - 展示コーナーを一定のサイクルで更新するため中長期の計画を立てる。 - 最新情報・用具更新についてはできる限り費用を抑えながら更新頻度を上げることができるよう関係競技団体やメーカーとの連携を強化する。							

(全体)
経済状況の悪化等から、当初予定どおりの最新用具等の提供及び企業協賛等が難しいことが考えられる。

[19年度]

[20年度]
展示品更新のための備品購入を予定していたが、予算化されなかったことにより、更新は次年度以降になるなど遅れが出ている。
また、当初の予定年度に事業を実施できないことにより、計画期間後半に事業が集中することとなる。

[21年度]
コーナーリニューアル及びジャンプシミュレーターについて、当初計画ではH21年度に設計としていたが、H21年度末をもって一部映像使用権が満了となるため、H21年度に更新することとなった。